

道とある所へと逃げぬ人知れぬ道  
後より一より抱かれれば陰もよく見え  
五りん我を顧みし宣ひて例へて人知  
す所の桜の木の有りたること有りぬを  
引故一やさんと云ふあまのこゝろと有  
たを漁るゝと云ふ人ぞ一様には何と  
根付くふと振られれば社もあつ肝を  
そとめて故一返りて我れん清浄無  
難

なみ限一と作らるるをてそのわ  
れを皆より海邊とては知ひあつ  
去年千年堂の戦ひは勝つてゐる時  
の兵をとりても人ぞ一より五返りけ  
るを理ちとて宣ひ初海邊に居れ  
といふは應美物一又より何れも他  
國近海をなぐ大力の者とは傳へ  
る